



転職活動における行動特性調査（2020年）

2020年8月 株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部

■転載・引用につきまして

レポートの著作権は、株式会社マイナビが保有します。レポートの内容を転載・引用する場合には、出所として

- ・弊社名（株式会社マイナビ）※株式会社は省略可
- ・調査名称
- ・調査時期

を明記してご利用ください。

ex)

株式会社マイナビ「転職活動者の行動特性調査（2020年8月調査）」によると・・

【転載・引用に関する注意事項】

以下の行為は禁止いたします。

- ・レポートの一部または全部を改変すること
- ・本レポートの一部または全部を販売・出版すること
- ・出所を明記せずに転載・引用を行うこと
- ・公序良俗に反する利用や違法行為につながる可能性がある利用を行うこと

※転載・引用されたことにより、利用者または第三者に損害その他トラブルが発生した場合、当社は一切その責任を負いません。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部

E-mail:myrm@mynavi.jp

- 調査目的 転職活動を行う者の属性や特徴を把握し、行動の特性を明らかにすること
- 調査名 転職活動における行動特性調査(2020年)
- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネット調査
- 対象者 正社員として働いている20代～50代の男女のうち、直近1年間（2019年6月以降）に転職活動をされた方
 - ① 転職者 800s
（転職をした）
 - ② 転職活動者 800s
（転職していない ※現在も転職活動を続けている or 直近1年以内に転職活動をしたが、現在は転職活動をしていない）
- 実施期間 スクリーニング調査：
2020年6月10日（水）～6月11日（木）

本調査：
2020年6月12日（金）～6月17日（水）

※調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

■回収・割付詳細

		男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	計
A	SCR 正社員数 (n)	1070	1820	2150	1690	830	870	890	680	10000
B	SCR10000s のうち ①転職者数 (n)	50	64	43	25	39	21	18	5	265
C	①転職者出現率 (%) (B/A)	4.7	3.5	2.0	1.5	4.7	2.4	2.0	0.7	2.7
D	①転職者構成比 (%) (Cを100%変換)	21.7	16.3	9.3	6.9	21.8	11.2	9.4	3.4	100.0
本調査割付 ①転職者 800s (n) (Dの構成比で割付)		173	131	74	55	175	90	75	27	800
F	SCR10000s のうち ②転職活動者 (n)	167	233	166	78	86	68	43	19	860
G	②転職活動者出現率 (%) (F/A)	15.6	12.8	7.7	4.6	10.4	7.8	4.8	2.8	8.6
H	②転職活動者構成比 (%) (Gを100%変換)	23.5	19.2	11.6	6.9	15.6	11.7	7.3	4.2	100.0
本調査割付 ②転職活動者 800s (n) (Hの構成比で割付)		188	154	93	55	124	94	58	34	800

※2015年度国勢調査の正規雇用者の構成比に合わせてSCR配信し、転職者、転職活動者の出現率から
転職者、転職活動者の構成比を算出し、本調査割付とした

- **全体の転職理由としては「給与が低い」「仕事内容への不満」「会社の将来性、安定性」が上位に挙げられている。転職活動者の転職理由については、転職者と比べて「副業や兼業を行える環境が欲しかった」「コロナの影響」が高くなっており、新型コロナウイルスの影響を受けていることが分かる。**
 - ・ 転職理由について、「副業や兼業を行える環境が欲しかった」が転職者・転職活動者間で8.1ptの差があり、コロナ禍において柔軟に働ける環境を望む傾向が見られた。
 - ・ 利用サービスのうち最も利用頻度が高かったサービスでは、「転職サイト」「人材紹介会社」の評価が高い。
 - ・ 今後積極的に利用したいサービスでも「転職サイト」は、転職者で52.4%、転職活動者では61.3%とやや開きがある。
- **同業界への転職意向は「IT・通信・インターネット」が90.6%、「不動産・建設・設備」では57.3%。**
 - ・ 現在の業種と希望業種が一致する割合をみると、転職市場でも人気のある「IT・通信・インターネット」が最も高く、資格取得者の割合が高い「医療・福祉・介護」が続いた。この両業界は他の業種を選択する比率も低く、同一業種内で転職する傾向にある。
 - ・ 一方、同一業界を志望する割合が低い業界は「不動産・建設・設備」「運輸・交通・物流・倉庫」となった。この2業界は幅広くほかの業界を志望する傾向にあり、人材が流出しやすい状況にある。
- **20～50代の7割は「柔軟な働き方が可能」と記載のある求人に応募意欲を上げている。**
 - ・ 転職サイト掲載情報による志望度変化は「給与・手当・賞与」「休暇制度・福利厚生制度」「仕事内容の詳細」が、志望度が上がる場合/下がる場合ともに大きい。
 - ・ 人材要件に関する言葉への印象を年代別にみると、どの年代においても「年齢や性別に関係なく評価する」が上位となった。求職者は求人企業を検討するなかで、入社時だけでなく入社後どのような評価が行われるかについても重要視していることが分かった。
 - ・ 福利厚生等に関する言葉への印象を年代別にみると「働き方改革を進めている」「柔軟な働き方が可能」「転勤がない・勤務地限定の採用」といった“働き方”に関する言葉がそれぞれ上位となった。充実した環境だけでなく、改善への取り組みや姿勢についても十分アピール材料になり得ることがわかる。また、「副業可能」は20～50代のすべての年代で50%以上が応募意欲が上がると答えた。

■ 人材紹介会社経由で内定を獲得した求職者の75.1%は、登録から内定まで3ヶ月未満。

- 人材紹介会社の認知経路としては「自らインターネットを検索して」がもっとも多くほぼ半数。次いで「利用していた転職サイトを見て」「インターネット広告を見て」が3割を超えた。
- 人材紹介会社の平均登録数は3.49社、登録推奨数は2.74社となった。50代では平均登録数、登録推奨数共に高い傾向にある。
- 紹介求人数は平均18.3件、応募した求人の数は平均6.6件、面接を受けた数は平均2.8件、内定を獲得した数は平均1.1件。
- 「面接を行った中で内定を得た割合」を『転職活動者』で見ると50.0%となり、『転職者』と比較して12.2pt高くなっている。
- 内定通知に至るまでの期間としては「～3か月未満」が半数を超えている。
- 人材紹介会社経由の求人で内定を獲得している割合は、人材紹介会社利用者『全体』で7割強、『転職者』においては8割強となった。

■ 企業ホームページで5人に3人が動画を視聴している。

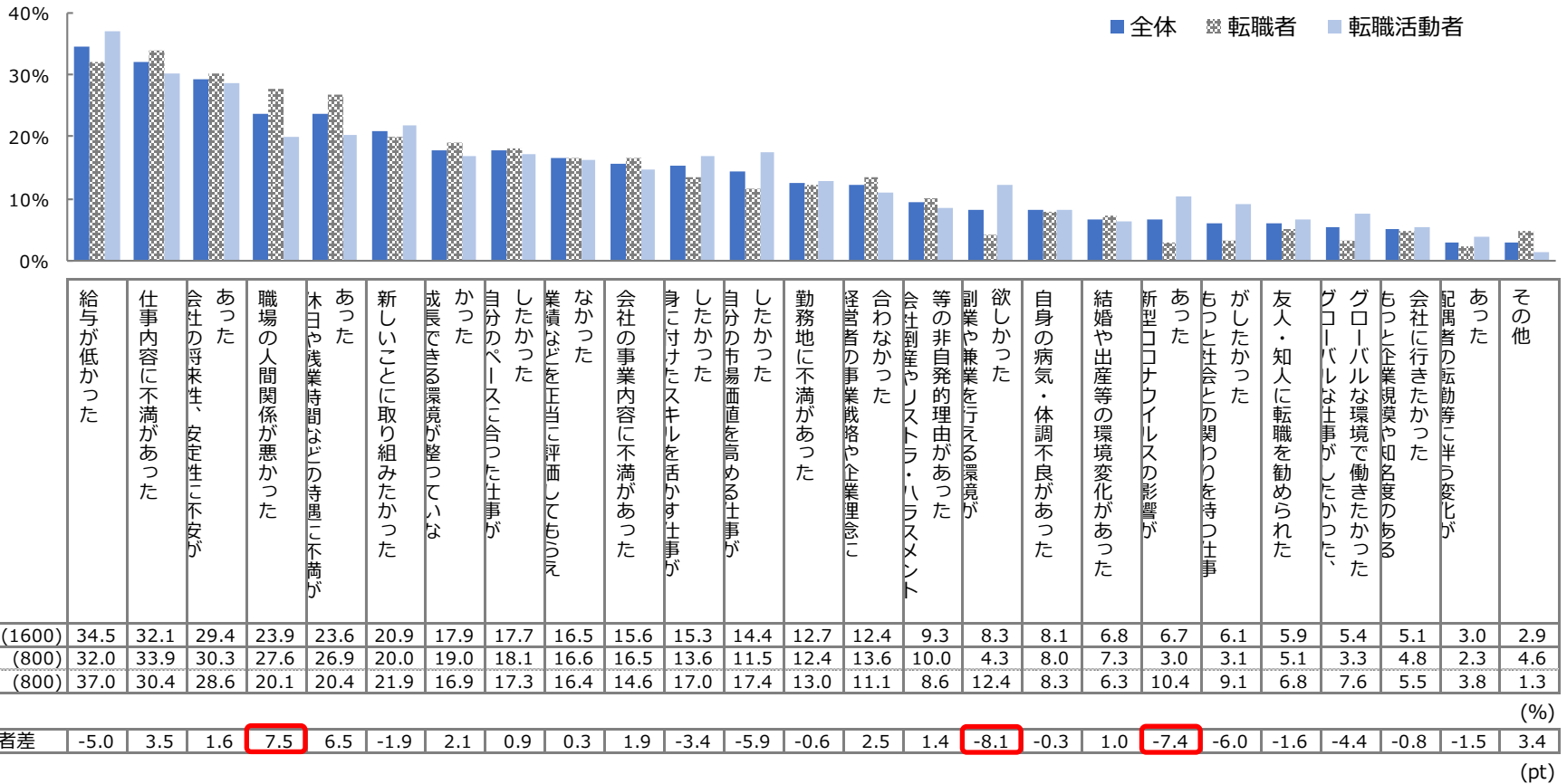
- 企業ホームページ利用者のうちエントリー経験があるのはおよそ7割で、エントリー理由としては「応募が簡単だった」が最も多い。
- 企業ホームページで重点的に見ている内容は、「給与・手当・賞与」をはじめとした“制度”に関する項目と「仕事内容の詳細」が高い。
- 企業ホームページ利用者のうち、6割弱が企業ホームページの動画視聴経験があり、年代による大きな差は見られなかった。
- 20代は視聴分数が長めの傾向にあった。

転職全般

【転職者/転職活動者比較】転職活動理由

- 転職活動理由としては「給与が低かった」が【転職者】・【転職活動者】共にもっとも高い。次いで「仕事内容に不満があった」「会社の将来性、安定性に不安があった」が上位に挙げられた。
- 「新型コロナウイルスの影響があった」は【転職活動者】で10.4%と、【転職者】の3.0%よりも高く、転職活動中に一定の影響を受けたことが分かる。
- また「副業や兼業を行える環境が欲しかった」が転職者・転職活動者間で8.1ptの差があり、コロナ禍において柔軟に働ける環境を望む傾向も見られた。

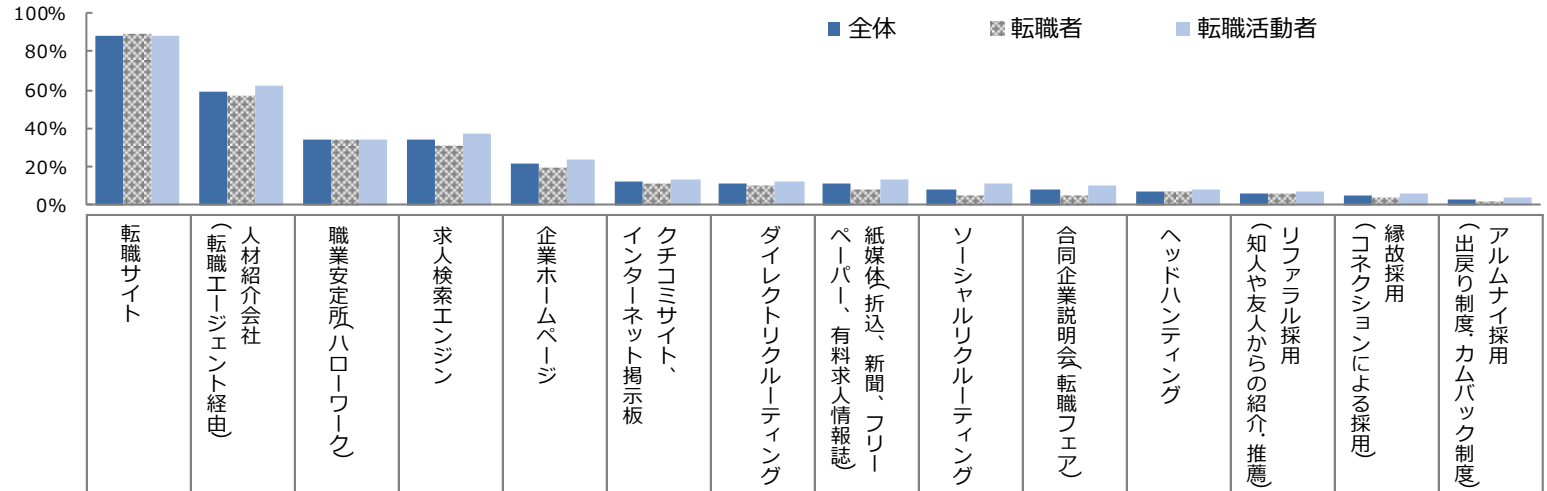
Q. あなたの1年以内（2019年6月以降）に始めた直近の転職活動について伺います。転職活動を始めた理由をすべてお選びください。その中で、最もあてはまるものをお選びください。



【転職者・転職活動者】利用サービス

- もっとも利用されたのは「転職サイト」でおよそ9割、続いて「人材紹介会社」が6割となった。
- 「クリエイター・エンジニア」「コンサルタント・専門職」では人材紹介会社を利用する割合がやや高い。

Q. 1年以内（2019年6月以降）に始めた直近の転職活動の際に、応募（エントリー）や情報収集、企業とのコミュニケーションなどで利用したサービスをお選びください。



		転職サイト	(転職エージェント経由) 人材紹介会社	職業安定所ハローワーク	求人検索エンジン	企業ホームページ	クチコミサイト、 インターネット掲示板	ダイレクトリクルーティング	紙媒体折込、新聞、フリー ペーパー、有料求人情報誌	ソーシャルリクルーティング	合同企業説明会転職フェア	ヘッドハンティング	(知人や友人からの紹介、 推薦) リファラル採用	縁故採用 (コネクションによる採用)	アルムナイ採用 (出戻り制度、カムバック制度)
全体 (1600)		88.4	59.4	34.3	34.0	21.5	11.8	11.3	10.8	8.1	7.7	7.3	6.4	5.4	2.9
転職者 (800)		88.9	57.0	34.5	31.0	19.3	10.8	10.0	8.0	5.1	5.1	6.9	6.0	4.4	1.5
転職活動者 (800)		87.9	61.9	34.1	37.0	23.8	12.9	12.5	13.6	11.0	10.3	7.8	6.9	6.4	4.4
性別 × 年代	男性20代 (361)	86.7	63.4	26.3	24.7	20.8	11.1	10.2	9.4	9.7	10.0	6.4	8.9	5.0	5.3
	男性30代 (285)	86.0	66.7	33.3	31.9	26.0	16.5	16.5	11.2	11.6	9.5	10.2	8.4	6.0	3.2
	男性40代 (167)	88.0	58.1	29.9	28.7	18.6	6.6	13.2	9.6	7.8	8.4	6.0	2.4	7.2	1.2
	男性50代 (110)	88.2	56.4	48.2	34.5	19.1	6.4	13.6	6.4	4.5	4.5	12.7	0.9	5.5	-
	女性20代 (299)	92.3	58.5	33.4	39.5	21.4	12.0	6.0	9.4	5.7	5.4	3.7	3.3	2.7	2.0
	女性30代 (184)	84.2	53.3	35.9	37.5	21.7	13.0	10.9	14.1	7.1	7.1	8.7	11.4	7.1	2.2
	女性40代 (133)	94.7	51.9	43.6	48.1	19.5	12.0	12.0	16.5	4.5	5.3	6.8	3.0	6.8	3.8
	女性50代 (61)	90.2	50.8	52.5	44.3	21.3	13.1	8.2	13.1	11.5	8.2	8.2	11.5	4.9	3.3
現在の 職種	営業 (272)	89.0	62.1	29.8	24.3	20.6	9.2	14.0	9.9	8.5	9.9	9.9	4.4	4.8	3.3
	企画・経営・管理・事務 (508)	89.4	67.1	35.4	41.7	26.6	15.0	15.0	11.6	7.7	8.9	7.9	8.3	7.5	3.7
	サービス職 (295)	91.2	46.1	42.0	36.9	19.3	13.9	4.4	15.3	8.8	5.8	7.5	6.1	4.7	3.1
	クリエイター・エンジニア (216)	80.1	71.3	24.5	26.4	22.2	9.3	11.6	8.3	8.8	6.9	5.6	7.9	4.6	2.8
	技能工・建築・土木 (125)	90.4	39.2	44.0	32.0	11.2	8.8	4.8	7.2	8.0	3.2	2.4	3.2	3.2	0.8
コンサルタント・専門職 (76)	80.3	80.3	19.7	28.9	21.1	15.8	23.7	9.2	11.8	6.6	13.2	6.6	6.6	2.6	

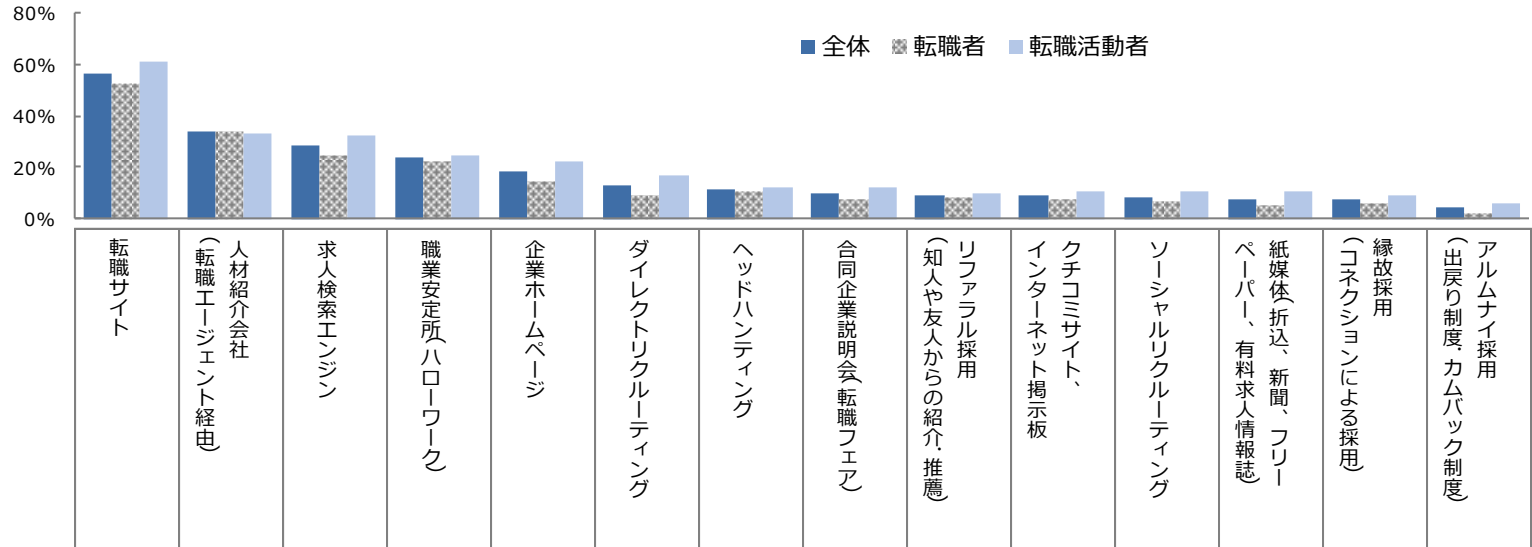
(%)

30s以上で ■ : 全体より+10pt以上 ■ : 全体より-10pt以下

【転職者・転職活動者】今後積極的に利用したいサービス

- 今後積極的に利用したいサービスは「転職サイト」がもっとも高く、5割を超えた。「人材紹介会社」「求人検索エンジン」「職業安定所」が続く。
- 「職業安定所」は『サービス職』、「ヘッドハンティング」は『コンサルタント・専門職』でそれぞれ他の職種よりも高くなっている。

Q. 今後積極的に利用したいサービスもあわせてお選びください。



		全体 (1600)	転職者 (800)	転職活動者 (800)	男性20代 (361)	男性30代 (285)	男性40代 (167)	男性50代 (110)	女性20代 (299)	女性30代 (184)	女性40代 (133)	女性50代 (61)	営業 (272)	企画・経営・管理・事務 (508)	サービス職 (295)	クリエイター・エンジニア (216)	技能工・建築・土木 (125)	コンサルタント・専門職 (76)
全体		56.8	52.4	61.3	54.3	52.6	62.3	55.5	60.2	59.2	58.6	50.8	57.7	56.7	60.7	59.3	48.8	43.4
転職者		33.8	34.1	33.5	31.9	35.1	26.9	29.1	38.8	38.6	30.1	36.1	30.1	42.7	28.8	35.6	18.4	43.4
転職活動者		28.3	24.5	32.1	19.1	24.6	22.2	32.7	33.4	34.2	44.4	36.1	15.8	31.7	34.9	25.9	29.6	25.0
性別 × 年代	男性20代	14.4	17.7	16.6	14.1	16.1	11.4	13.6	8.0	14.1	15.8	8.2	12.9	16.9	7.1	14.8	5.6	17.1
	男性30代	19.6	19.6	22.3	17.7	19.6	12.6	17.3	6.0	11.4	10.5	11.5	14.3	12.6	8.1	10.6	8.0	19.7
	男性40代	19.8	19.8	11.9	11.4	9.0	7.2	4.5	11.7	9.2	7.5	8.2	8.1	11.2	9.2	12.0	6.4	10.5
	男性50代	15.5	15.5	10.3	10.5	4.5	5.4	2.7	9.0	15.8	8.3	13.1	7.7	11.4	9.2	8.8	7.2	11.8
	女性20代	17.1	17.1	10.4	8.0	11.7	7.0	2.7	9.7	8.7	9.8	8.2	6.6	10.2	11.5	8.3	8.0	6.6
	女性30代	20.7	20.7	10.4	6.0	9.2	7.1	4.5	5.0	7.1	5.3	11.5	7.7	9.1	8.8	8.3	6.4	9.2
	女性40代	20.7	20.7	10.4	11.4	9.2	6.5	2.7	7.0	6.5	11.3	8.2	8.1	7.1	12.2	5.6	6.4	6.6
	女性50代	14.8	14.8	6.3	11.5	8.2	3.0	3.6	3.3	10.3	9.0	8.2	7.4	7.3	7.8	11.1	4.8	5.3
現在の 職種	営業	17.6	16.5	15.8	17.6	22.0	20.7	16.2	17.1	12.5	16.2	14.8	16.5	22.0	20.7	16.2	14.8	13.2
	企画・経営・管理・事務	24.8	22.0	34.2	24.8	16.9	8.1	10.2	11.4	7.1	16.2	14.8	16.5	22.0	20.7	16.2	14.8	13.2
	サービス職	24.8	22.0	34.2	24.8	16.9	8.1	10.2	11.4	7.1	16.2	14.8	16.5	22.0	20.7	16.2	14.8	13.2
	クリエイター・エンジニア	12.5	16.2	14.8	14.8	10.6	10.2	12.0	8.8	8.3	5.6	11.1	16.5	22.0	20.7	16.2	14.8	13.2
	技能工・建築・土木	30.4	15.2	30.4	15.2	5.6	8.0	6.4	3.2	7.2	8.0	4.8	16.5	22.0	20.7	16.2	14.8	13.2

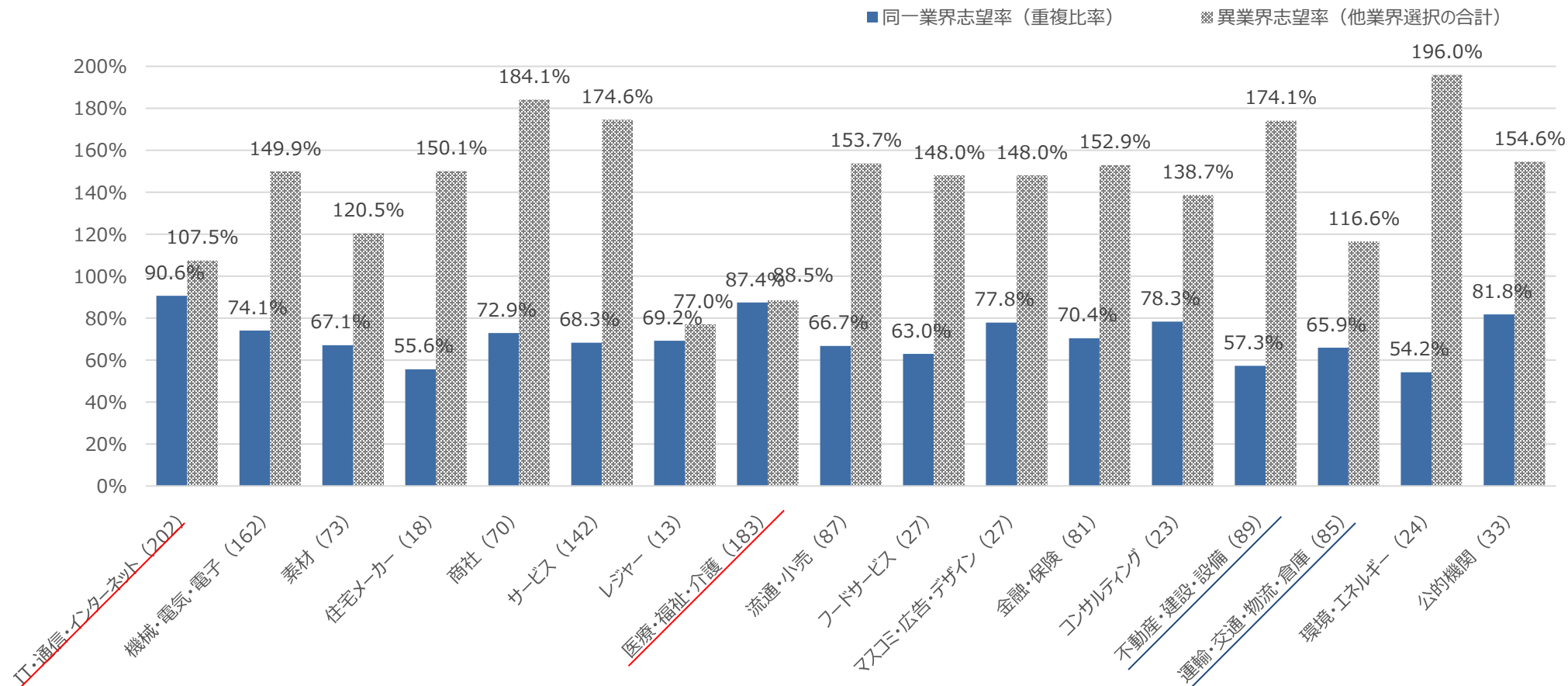
(%)

30s以上で ■ : 全体より+10pt以上 ■ : 全体より-10pt以下

【転職者・転職活動者】現在の業種と同じ業界を希望する割合

- 希望業種（複数選択）と現在の業種が重複する割合（一致率）を確認してみると、転職市場でも人気のある「IT・通信・インターネット」が同一業界を選択する割合が最も高く、資格取得者の割合が高い「医療・福祉・介護」が続いた。この両業界は他の業種を選択する比率も低いことから、同一業種内で転職する傾向にある。
- 一方、同一業界を志望する割合が低い業界は「不動産・建設・設備」「運輸・交通・物流・倉庫」となった。この2業界は幅広くほかの業界を志望する傾向にあり、人材が流出しやすい状況にある。

Q. 仮に転職するとした場合、次はどのような業界に転職したいですか。現在の業種とあわせてご回答ください。



※回答者1,600名の内「希望の業種はない」の回答者を除いた1,419名で集計（回答数30以下は参考値）

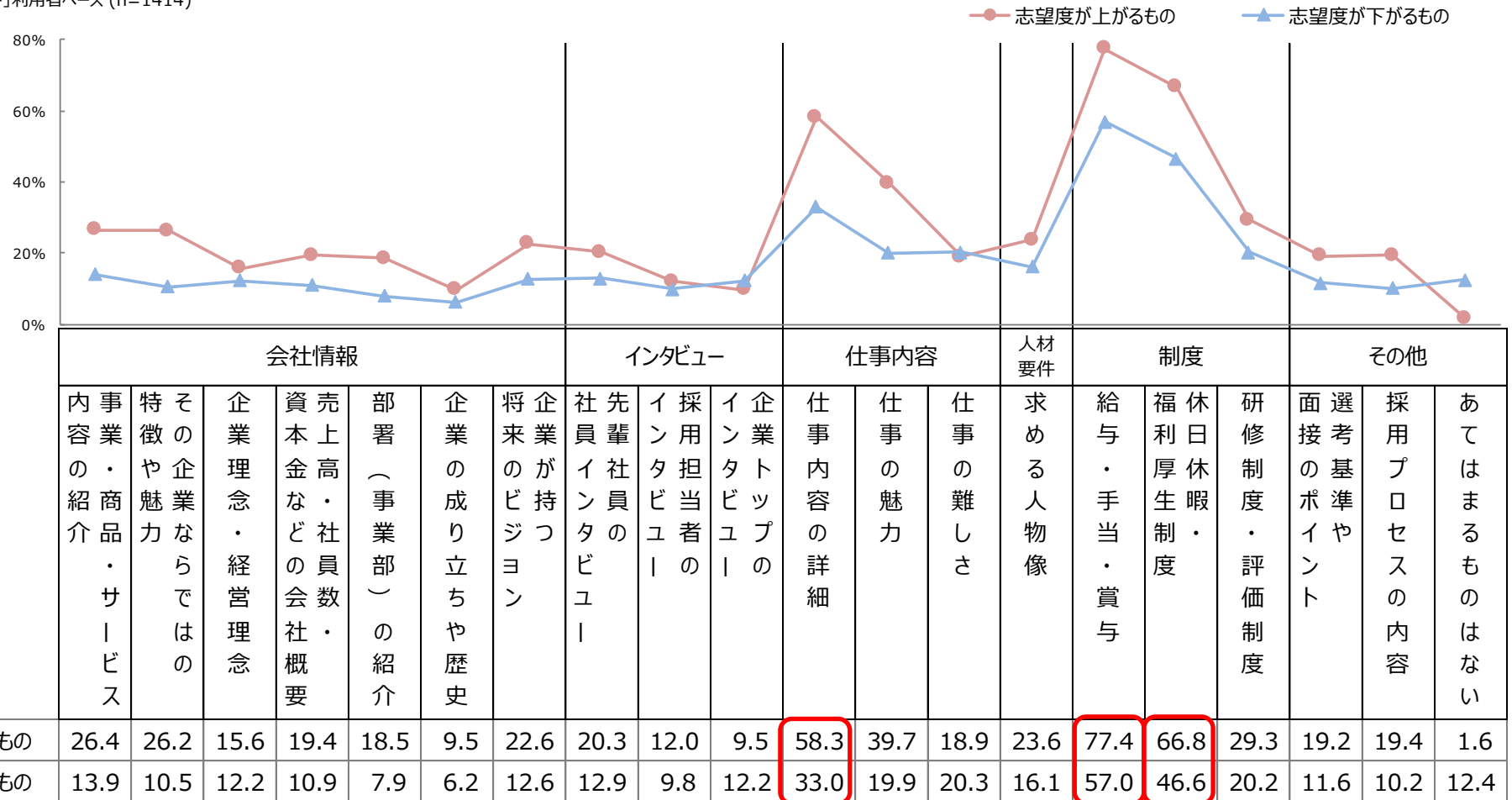
転職サイト

転職サイト掲載情報による志望度変化

- 望ましい内容であった場合志望度が上がる情報、望ましくない内容であった場合志望度が下がる情報ともに「給与・手当・賞与」がもっとも高い。次いで「休日休暇・福利厚生制度」「仕事内容の詳細」が高くなっている。

Q. 転職サイト内の求人情報を見る際に、以下の項目にあてはまるものをそれぞれすべてお選びください。

*1年以内「転職サイト」利用者ベース (n=1414)



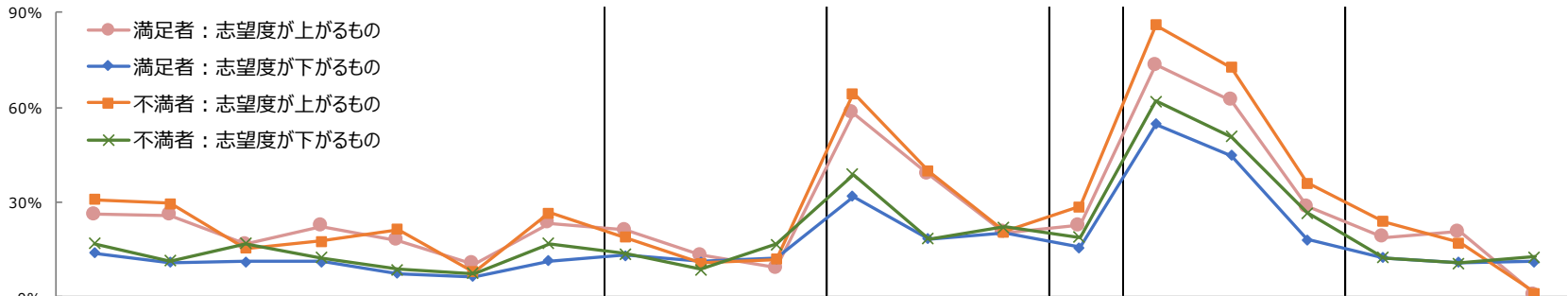
(%)

転職サイト掲載情報による志望度変化

● 1年以内（2019年6月以降）に行った転職活動について満足・不満者それぞれの志望度変化を見たところ、転職活動に「不満だった」と答えたグループの方が、望ましい内容であった場合志望度が上がる情報、望ましくない内容であった場合志望度が下がる情報ともに高い結果となった。過去の転職活動の経験を通して転職先へのハードルが高くなっていると考えられる。

Q. 転職サイト内の求人情報を見る際に、以下の項目にあてはまるものをそれぞれすべてお選びください。

*1年以内「転職サイト」利用者 (n=1414)中、転職に「満足」と答えた回答者 (n=699)



		会社情報						インタビュー				仕事内容			人材要件	制度			その他										
		内容の紹介	事業・商品・サービス	特徴や魅力	その企業ならではの	企業理念・経営理念	資本高・社員数・概要	売上高・社員の紹介	部署（事業部）の紹介	企業の成り立ちや歴史	将来のビジョン	企業が持つ	社員インタビュー	先輩社員のインタビュー	採用担当者のインタビュー	インタビューの	企業トップの	仕事内容の詳細	仕事の魅力	仕事の難しさ	求める人物像	給与・手当・賞与	福利厚生制度	休日休暇・	研修制度・評価制度	面接のポイント	選考基準や	採用プロセスの内容	あてはまるものはない
転職に満足 (699)	満足者：志望度が上がるもの	26.2	25.9	16.7	22.5	18.0	10.4	23.3	21.2	13.2	9.2	58.2	38.8	20.5	22.7	73.4	62.2	28.6	19.0	20.7	0.7								
	満足者：志望度が下がるもの	13.9	10.9	11.3	11.2	7.6	6.6	11.4	13.2	11.3	12.2	31.8	18.5	20.5	15.6	54.8	44.9	18.2	12.4	10.9	11.2								
転職に不満 (289)	不満者：志望度が上がるもの	30.8	29.8	15.6	17.6	21.5	8.0	26.6	19.0	10.7	12.1	64.4	39.8	20.8	28.7	86.2	72.7	36.0	23.9	17.3	1.4								
	不満者：志望度が下がるもの	17.0	11.4	17.0	12.5	8.7	7.6	17.0	13.8	8.7	16.6	38.8	18.3	22.1	19.0	61.9	50.9	26.6	12.5	10.7	12.8								

(%)

転職サイト掲載の人材要件に関する言葉への印象

- 応募意欲が上がる言葉を年代別にみると、どの年代においても「年齢や性別に関係なく評価する」が上位となった。求職者は求人企業を検討するなかで、入社だけでなく入社後どのような評価が行われるかについても重要視していることが分かった。また20～40代では「研修充実」が5位以上となっており、入社後の研修の手厚さについても重要視していることが分かった。
- 応募意欲が下がる言葉として、20代では「大量採用」、他の年代では「誰でもできる簡単な仕事」「フリーター歓迎」が上位となった。容易すぎる仕事、誰でもよい、というようなイメージに繋がる言葉は応募意欲が下がる敬遠された。

Q. あなたが転職サイトで企業の求人情報を見る際に、以下の人材要件に関する言葉に対してどのように感じますか。あてはまるものをそれぞれひとつずつお選びください。

20代

応募意欲が上がる言葉上位7位 (589)

順位	人材要件に関する言葉	%
1	年齢や性別に関係なく評価する	71.1
2	未経験者歓迎	69.8
3	研修充実	68.6
4	人物重視の採用	65.9
5	年齢不問	58.7
6	転職回数不問	56.0
7	第二新卒歓迎	55.3

応募意欲が下がる言葉上位7位 (589)

順位	人材要件に関する言葉	%
1	大量採用	35.7
2	誰でもできる簡単な仕事	35.5
3	フリーター歓迎	30.2
4	急募	27.0
5	将来の幹部候補	24.6
6	書類選考なし	21.6
7	スピード昇進	19.5

30代

応募意欲が上がる言葉上位7位 (400)

順位	人材要件に関する言葉	%
1	年齢や性別に関係なく評価する	74.3
2	人物重視の採用	63.3
3	未経験者歓迎	62.3
4	年齢不問	60.8
5	研修充実	58.3
6	転職回数不問	55.0
7	チャレンジ精神を歓迎	52.0

応募意欲が下がる言葉上位7位 (400)

順位	人材要件に関する言葉	%
1	誰でもできる簡単な仕事	37.3
2	フリーター歓迎	36.5
3	大量採用	35.0
4	急募	25.3
5	書類選考なし	23.8
6	第二新卒歓迎	23.3
7	正社員デビューも歓迎	22.0

40代

応募意欲が上がる言葉上位7位 (273)

順位	人材要件に関する言葉	%
1	年齢や性別に関係なく評価する	76.6
2	年齢不問	72.2
3	人物重視の採用	65.2
4	転職回数不問	57.1
5	研修充実	54.2
6	未経験者歓迎	52.7
7	チャレンジ精神を歓迎	48.4

応募意欲が下がる言葉上位7位 (273)

順位	人材要件に関する言葉	%
1	フリーター歓迎	41.4
2	誰でもできる簡単な仕事	35.9
3	大量採用	34.4
4	第二新卒歓迎	27.8
5	書類選考なし	22.3
6	将来の幹部候補	19.8
7	正社員デビューも歓迎	18.7

50代

応募意欲が上がる言葉上位7位 (152)

順位	人材要件に関する言葉	%
1	年齢不問	80.9
2	年齢や性別に関係なく評価する	73.7
3	人物重視の採用	69.1
4	転職回数不問	55.9
5	チャレンジ精神を歓迎	52.6
6	未経験者歓迎	50.0
6	個人の裁量が大きい	50.0

応募意欲が下がる言葉上位7位 (152)

順位	人材要件に関する言葉	%
1	フリーター歓迎	37.5
2	誰でもできる簡単な仕事	36.8
3	第二新卒歓迎	32.2
4	大量採用	28.9
5	業務範囲の幅が広い	19.1
6	スピード昇進	18.4
7	書類選考なし	17.8

※人材要件に関する20ワードについて、それぞれ印象を調査

※応募意欲が上がる＝「応募意欲が上がる」＋「やや応募意欲が上がる」 / 応募意欲が下がる＝「応募意欲が下がる」＋「やや応募意欲が下がる」

転職サイト掲載の福利厚生等に関する言葉への印象

- 応募意欲が上がる言葉を年代別にみると「働き方改革を進めている」「柔軟な働き方が可能」「転勤がない・勤務地限定の採用」といった“働き方”に関する言葉がそれぞれ上位となった。充実した環境だけでなく、改善への取り組みや姿勢についても十分アピール材料になり得ることがわかる。また、「副業可能」は20～50代すべての年代で7位以上となり、回答者の50%以上が応募意欲が上がる」と答えた。
- 応募意欲が下がる言葉としては「固定残業代制度・みなし残業代制度」「社員旅行・懇親会が盛ん」がそれぞれの年代で上位となった。また、「社員平均年齢20代で若手が活躍中」については、20代含むすべての年代で敬遠される傾向にあった。

Q. あなたが転職サイトで企業の求人情報を見る際に、以下の福利厚生等に関する言葉に対してどのように感じますか。あてはまるものをそれぞれひとつずつお選びください。

20代

応募意欲が上がる言葉上位7位 (589)

順位	福利厚生に関する言葉	%
1	働き方改革を進めている	78.6
1	柔軟な働き方が可能	78.6
3	残業削減を推奨	75.0
4	転勤がない・勤務地限定の採用	74.0
5	副業可能	69.6
6	在宅勤務可能	67.2
7	フレックス勤務	65.2

応募意欲が下がる言葉上位7位 (589)

順位	福利厚生に関する言葉	%
1	固定残業代制度・みなし残業代制度	41.4
2	社員旅行・懇親会が盛ん	38.5
3	社員平均年齢20代で若手が活躍中	16.3
3	社長との距離が近い	16.3
5	インセンティブ(歩合給)あり	15.8
6	独立支援制度	15.6
7	ベテラン社員が多い	15.4

30代

応募意欲が上がる言葉上位7位 (400)

順位	福利厚生に関する言葉	%
1	転勤がない・勤務地限定の採用	74.5
2	柔軟な働き方が可能	72.3
3	働き方改革を進めている	71.5
4	残業削減を推奨	66.8
5	副業可能	65.8
6	在宅勤務可能	60.5
7	中途入社が多い	60.0

応募意欲が下がる言葉上位7位 (400)

順位	福利厚生に関する言葉	%
1	社員旅行・懇親会が盛ん	42.5
2	固定残業代制度・みなし残業代制度	38.8
3	社員平均年齢20代で若手が活躍中	36.5
4	独立支援制度	16.0
5	インセンティブ(歩合給)あり	14.8
6	面接1回のスピード選考	14.3
7	私服面接OK	13.3

40代

応募意欲が上がる言葉上位7位 (273)

順位	福利厚生に関する言葉	%
1	柔軟な働き方が可能	70.3
2	転勤がない・勤務地限定の採用	65.9
2	働き方改革を進めている	65.9
4	残業削減を推奨	59.0
5	中途入社が多い	57.9
6	フレックス勤務	56.4
7	副業可能	56.0

応募意欲が下がる言葉上位7位 (273)

順位	福利厚生に関する言葉	%
1	社員平均年齢20代で若手が活躍中	60.1
2	社員旅行・懇親会が盛ん	46.5
3	固定残業代制度・みなし残業代制度	39.2
4	インセンティブ(歩合給)あり	20.1
5	独立支援制度	17.2
6	社長との距離が近い	15.0
7	私服面接OK	12.5

50代

応募意欲が上がる言葉上位7位 (152)

順位	福利厚生に関する言葉	%
1	転勤がない・勤務地限定の採用	68.4
2	柔軟な働き方が可能	67.8
3	働き方改革を進めている	65.1
4	副業可能	54.6
5	中途入社が多い	53.3
5	フレックス勤務	53.3
7	残業削減を推奨	52.6

応募意欲が下がる言葉上位7位 (152)

順位	福利厚生に関する言葉	%
1	社員平均年齢20代で若手が活躍中	48.0
2	社員旅行・懇親会が盛ん	34.2
3	固定残業代制度・みなし残業代制度	30.3
4	独立支援制度	15.8
5	ジョブローテーションあり	15.1
6	インセンティブ(歩合給)あり	14.5
7	社長との距離が近い	11.2

※福利厚生等に関する20ワードについて、それぞれ印象を調査

※応募意欲が上がる＝「応募意欲が上がる」+「やや応募意欲が上がる」 / 応募意欲が下がる＝「応募意欲が下がる」+「やや応募意欲が下がる」

転職サイト掲載の「副業可能」という言葉への印象

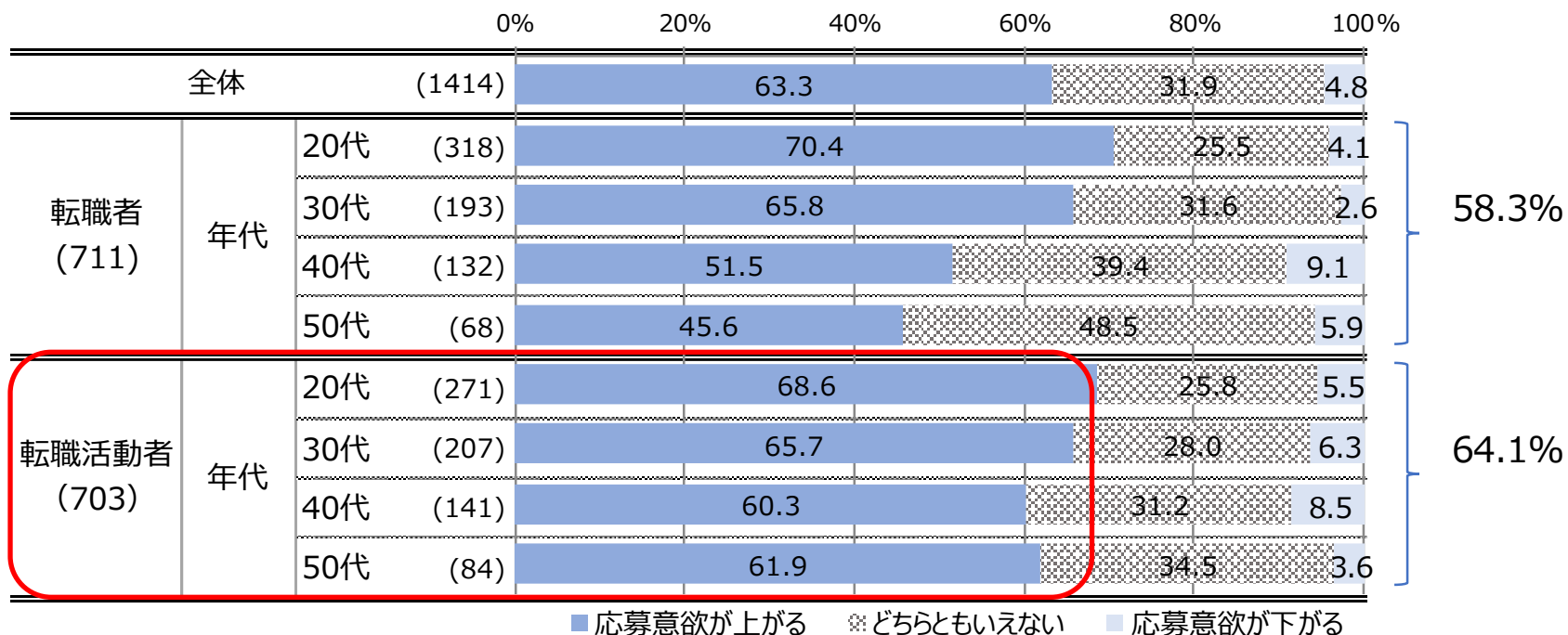
- 福利厚生等に関する言葉の中から「副業可能」を抜き出し、転職者と転職活動者で比較した。転職者の20～50代で「応募意欲が上がる」と答えたのは平均58.3%であった一方、転職活動者の20～50代で「応募意欲が上がる」と答えたのは平均64.1%だった。転職活動者はコロナの影響を強く受けていると考えられ、「副業可能」にポジティブな印象が持たれた。
- 年代別でそれぞれ比較すると、転職者・転職活動者共に20代が高い傾向にあった。転職活動者については年代による大幅な差は見られず、20～50代すべてが60%以上となった。

Q. あなたが転職サイトで企業の求人情報を見る際に、以下の福利厚生等に関する言葉に対してどのように感じますか。あてはまるものをそれぞれひとつずつお選びください。

応募意欲が
上がる
平均値

*1年以内「転職サイト」利用者ベース (n=1414)

【「副業可能」という言葉への印象】



58.3%

64.1%

※福利厚生等に関する20ワードについて、印象を調査したうち、「副業可能」についてのデータを抜き出し
 ※応募意欲が上がる＝「応募意欲が上がる」+「やや応募意欲が上がる」 / 応募意欲が下がる＝「応募意欲が下がる」+「やや応募意欲が下がる」

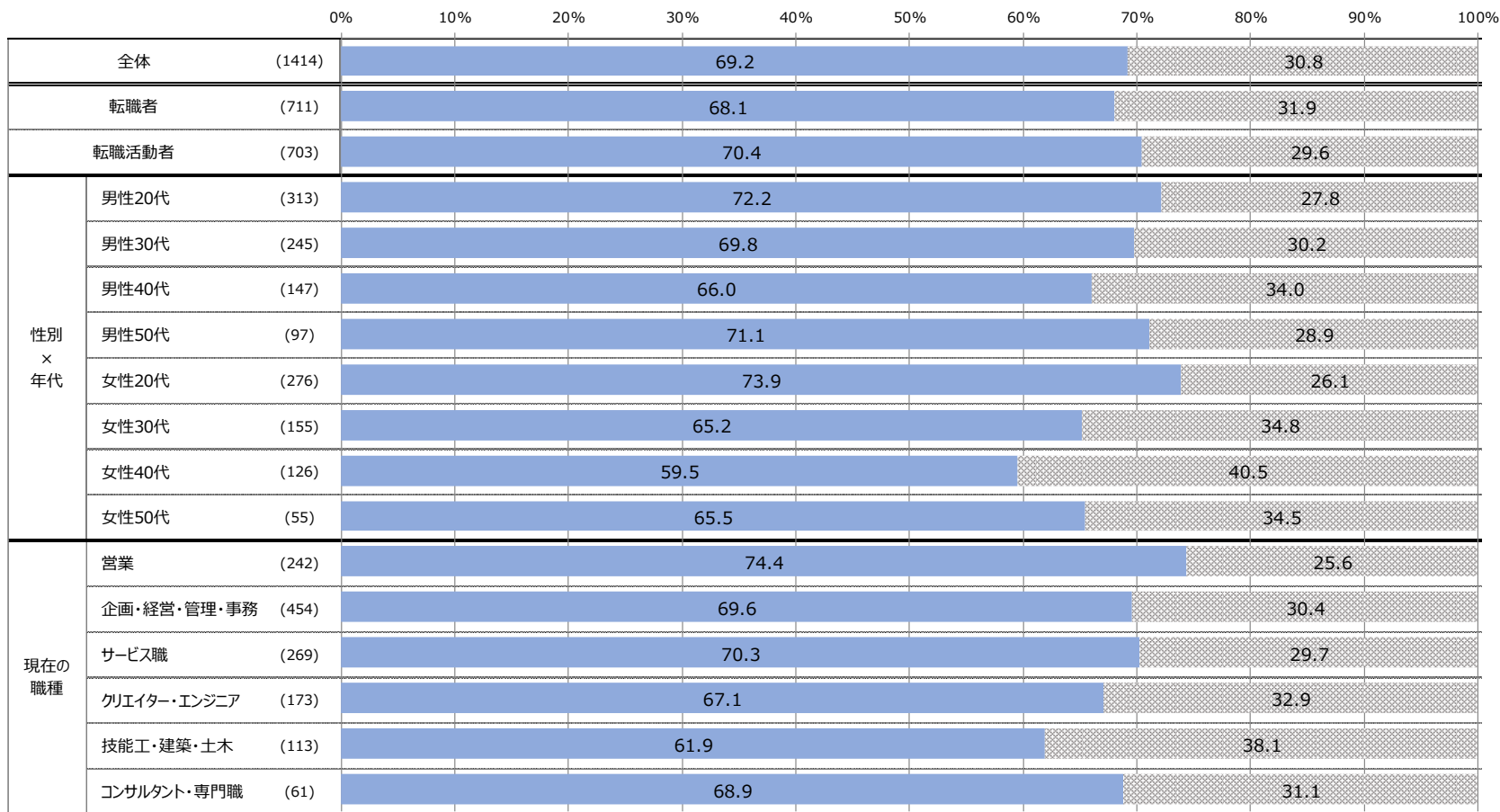
転職サイト内動画の有無による応募のしやすさ

- 転職サイトで求人情報を見る際、動画コンテンツがある場合とない場合のどちらが応募しやすいか聞いたところ、「動画コンテンツがある方が応募しやすい」が全体で69.2%となった。
- 性年代別、現在の職種別、どの層においても「動画コンテンツがある方が応募しやすい」が過半数となった。

Q. あなたが転職サイトで企業の求人情報を見る際、AとBの内容でどちらが応募（エントリー）しやすいですか。あなたの気持ちに近いものをお選びください。

*1年以内「転職サイト」利用者ベース (n=1414)

転職サイト内動画の有無による応募のしやすさ



■ 動画コンテンツがある方が応募しやすい

■ 動画コンテンツがない方が応募しやすい

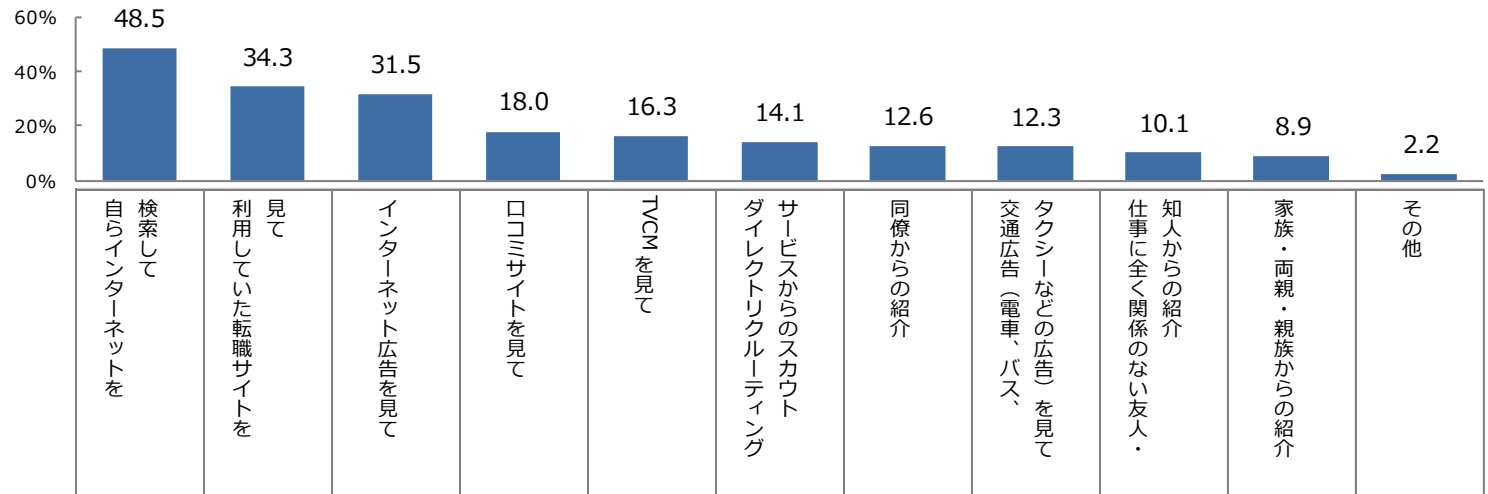
人材紹介会社

人材紹介会社認知経路

- 認知経路としては「自らインターネットを検索して」がもっとも多くほぼ半数。次いで「利用していた転職サイトを見て」「インターネット広告を見て」が3割を超えた。
- 「利用していた転職サイト見て」は女性50代で低く、一方、「インターネット広告を見て」は女性50代で高くなった。

Q. あなたが利用した人材紹介会社は、どのようなきっかけで知りましたか。

*1年以内「人材紹介会社」利用者ベース



		自らインターネットを検索して	利用していた転職サイトを見て	インターネット広告を見て	口コミサイトを見て	TVCMを見て	サービスからのスカウトダイレクトリクルーティング	同僚からの紹介	交通広告（電車、バス、タクシーなどの広告）を見て	知人からの紹介 仕事に全く関係のない友人・	家族・両親・親族からの紹介	その他
全体 (944)		48.5	34.3	31.5	18.0	16.3	14.1	12.6	12.3	10.1	8.9	2.2
転職者 (455)		49.5	34.7	28.4	13.4	13.0	9.7	9.9	8.8	7.3	6.4	4.0
転職活動者 (489)		47.6	33.9	34.4	22.3	19.4	18.2	15.1	15.5	12.7	11.2	0.6
性別 × 年代	男性20代 (227)	41.9	39.2	33.5	18.5	15.9	17.2	12.3	17.2	13.7	11.0	2.2
	男性30代 (190)	50.0	32.6	31.1	20.5	21.6	17.4	17.9	11.1	7.9	11.6	2.1
	男性40代 (97)	46.4	33.0	35.1	13.4	15.5	18.6	6.2	8.2	2.1	5.2	5.2
	男性50代 (62)	51.6	35.5	33.9	8.1	8.1	16.1	8.1	6.5	4.8	3.2	3.2
	女性20代 (171)	54.4	33.3	26.3	18.1	14.0	6.4	6.4	12.9	12.3	10.5	1.2
	女性30代 (98)	52.0	35.7	24.5	18.4	17.3	8.2	18.4	11.2	12.2	6.1	3.1
	女性40代 (69)	44.9	29.0	34.8	21.7	15.9	13.0	14.5	11.6	11.6	7.2	-
女性50代 (30)	53.3	23.3	46.7	23.3	16.7	16.7	23.3	10.0	10.0	3.3	-	
現在の職種	営業 (167)	40.1	31.7	29.3	18.6	18.0	22.8	16.2	10.2	10.2	6.6	1.8
	企画・経営・管理・事務 (339)	50.4	37.2	33.0	19.2	18.0	12.1	11.5	14.5	11.5	8.8	1.8
	サービス職 (135)	57.0	31.1	38.5	18.5	10.4	11.1	10.4	10.4	8.9	17.8	2.2
	クリエイター・エンジニア (153)	45.8	35.9	30.7	17.0	17.0	13.7	11.1	15.0	5.9	5.9	3.9
	技能工・建築・土木 (48)	45.8	35.4	27.1	18.8	18.8	6.3	10.4	6.3	18.8	6.3	2.1
コンサルタント・専門職 (61)	49.2	29.5	19.7	16.4	14.8	18.0	21.3	9.8	6.6	11.5	1.6	

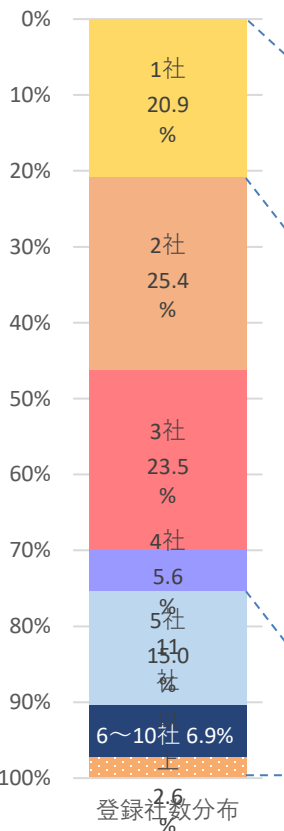
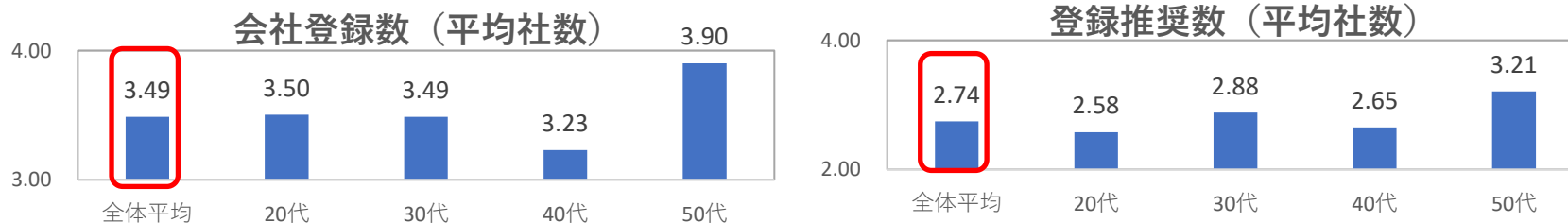
(%)

30s以上で ■ : 全体より+10pt以上 ■ : 全体より-10pt以下

人材紹介会社登録数・登録推奨数

- 人材紹介会社の平均登録数は3.49社、登録推奨数は2.74社となった。50代において平均登録数及び登録推奨数ともに高い傾向にある。
- 登録社数2~4社の理由として多く挙げられているのが「比較検討のため」「幅広く探すために、多すぎず少なすぎない」という理由が多い、一方、登録社数1社のみの理由として挙げられたのが「複数社とのやり取りが面倒・情報が混乱してしまう」が多かった、登録社数8社以上の理由は、「数が多い程、チャンスは増える」「短期間で転職を決めたい」といった要素が多かった。

Q. 直近の転職活動で登録した人材紹介会社の社数と、転職活動をする際にこれぐらい登録するとよいと思う人材紹介会社の社数をお答えください。
また、直近の転職活動で登録した人材紹介会社の社数を、「〇〇社登録した」とする理由を教えてください。

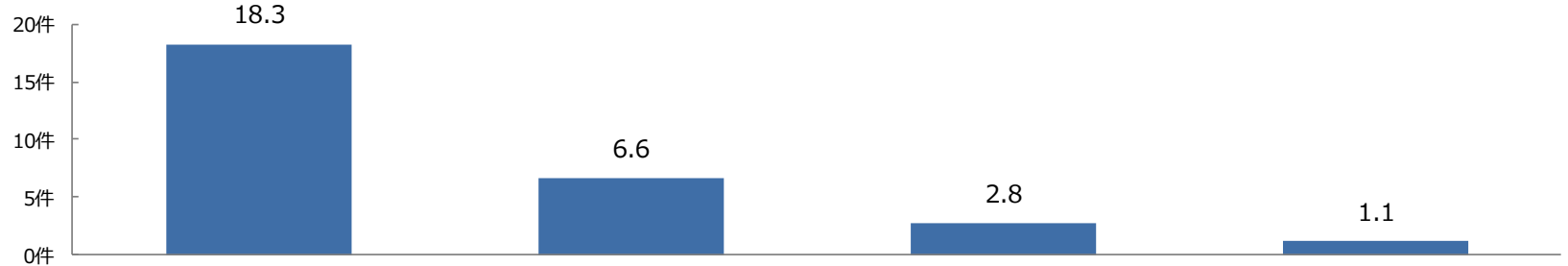


転職状況	性別	年代	居住地	業種	職種	人材紹介会社登録数	その理由
1. 転職者	2. 女性	1. 20代	13. 東京都	12. 金融・保険	03. 管理・事務	1社	あまり多く登録すると情報過多になり転職がめんどくさくなりそうだったから。
2. 活動者	1. 男性	1. 20代	23. 愛知県	02. 機械・電気・電子	13. 電気・電子・機械・半導体	1社	複数の会社に登録するより、1社に絞ってそこからの情報を注視した方が抜け漏れない。また、複数社登録するとメッセージのやり取りをどこの会社でやったか混乱してしまう。
2. 活動者	1. 男性	3. 40代	12. 千葉県	02. 機械・電気・電子	12. ITサービス	1社	現職があり、仕事をしながらの転職活動のため、多くの会社に登録しても処理できると思えないため
1. 転職者	1. 男性	1. 20代	13. 東京都	01. IT・通信・インターネット	02. 企画・経営	1社	しっかり1社と向き合って自分も話すことができるので。また向こうにもその旨を伝えるとサポートが手厚い
1. 転職者	1. 男性	1. 20代	14. 神奈川県	01. IT・通信・インターネット	03. 管理・事務	2社	大小二つくらいはあった方がいいと思ったから。大きいところは数があり、小さいところは数的には少ないが、独自のものがあつたり、個別に対応してもらえたと思った
1. 転職者	1. 男性	1. 20代	40. 福岡県	10. フードサービス	06. 医療・福祉	2社	多すぎても迷うので、比較できる最低限の数
1. 転職者	1. 男性	1. 20代	11. 埼玉県	01. IT・通信・インターネット	01. 営業	2社	一つだと心許ないから2社がベストだと思う。多すぎても求人かぶるし、面接対策等も集中できない。総合的にみて2社が妥当
2. 活動者	1. 男性	2. 30代	13. 東京都	15. 運輸・交通・物流・倉庫	03. 管理・事務	3社	3社あれば方向性が違う企業の長所も概ね網羅できると思うから。
2. 活動者	2. 女性	1. 20代	33. 岡山県	08. 医療・福祉・介護	06. 医療・福祉	3社	転職サイトも良し悪しがあるので、比較する方が良い。エージェント経由でもこちらの条件提示に対して同じ案件を持っていくわけではないので比較が必要
2. 活動者	2. 女性	1. 20代	11. 埼玉県	02. 機械・電気・電子	03. 管理・事務	3社	営業担当の質や相性、非公開求人人数などが会社によって異なるため、自分に合ったところを見つけられるように複数の会社を利用したほうが良いと思うから。あまり多く登録しすぎて管理が大変なので3社が妥当だと思った。
2. 活動者	1. 男性	1. 20代	12. 千葉県	03. 素材	01. 営業	4社	登録数自体には意味がなく、納得のできる転職会社に会うまでに要した数
1. 転職者	1. 男性	3. 40代	14. 神奈川県	18. その他	06. 医療・福祉	4社	多すぎず少なすぎない数だから
1. 転職者	2. 女性	2. 30代	13. 東京都	01. IT・通信・インターネット	09. WEB・インターネット・ゲーム	4社	企業によって得意とする分野、案件数にばらつきがあるから、幅広く探すのであれば網羅性がある4つ
2. 活動者	2. 女性	4. 50代	23. 愛知県	08. 医療・福祉・介護	06. 医療・福祉	4社	コロナの影響で募集が少ないから。
2. 活動者	1. 男性	2. 30代	27. 大阪府	15. 運輸・交通・物流・倉庫	03. 管理・事務	8社	年齢的に最後の転職だと考えているため、できるだけ短期間で決着をつけたいので。
2. 活動者	1. 男性	4. 50代	14. 神奈川県	01. IT・通信・インターネット	17. その他	10社	数が多い程、チャンスは増える。仕方ない。。
1. 転職者	1. 男性	4. 50代	13. 東京都	01. IT・通信・インターネット	01. 営業	20社	数多くの人材紹介会社に登録することにより、情報収集を行うことによる転職市場の状況を正確に把握するため。

人材紹介会社での活動期間 及び 紹介求人数・応募数・面接数・内定数

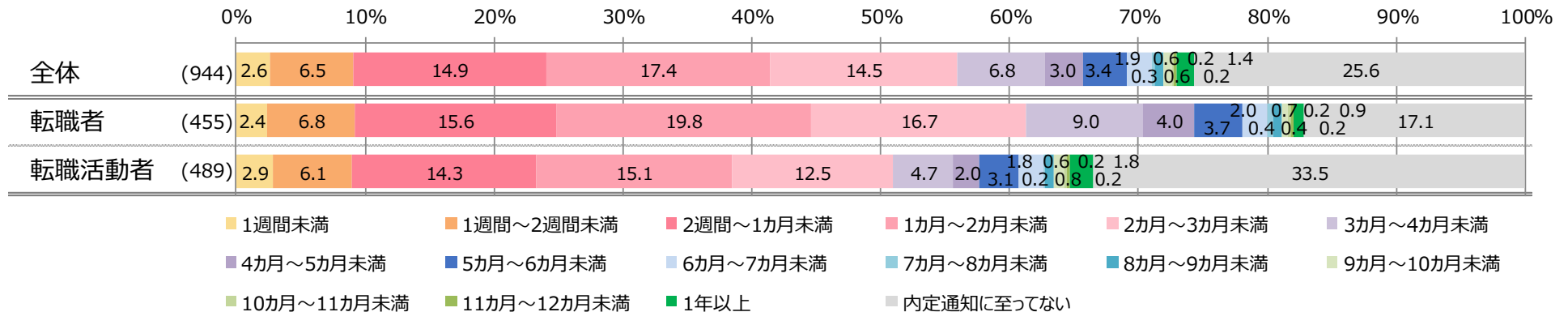
- 紹介求人数は全体で平均18.3件。活動状況別にみると『転職者』で紹介求人数は多く、平均24.2件、『転職活動者』では紹介求人数は平均12.7件と大よそ5割減となっている。
- 求人の紹介から内定に至るまでのそれぞれの割合を『転職活動者』で見ると、紹介求人に対して応募に至る割合は31.5%と『転職者』に比べ低い傾向にあるが、応募求人に対して面接を受けた割合は45.0%、面接件数に対して内定を獲得した割合は50.0%と、面接を受ける割合で5.6pt、内定獲得の割合で12.2ptそれぞれ『転職者』より高くなっている。
- 内定通知に至るまでの期間としては「～3か月未満」が半数を超えており、人材紹介会社経由の求人で内定を獲得している割合は、『全体』で7割強、『転職者』においては8割強となっている。

Q. 利用している人材紹介会社での、「紹介された求人数」「応募（エントリー）した求人の数」「面接を受けた数」「内定を獲得した数」「内定を獲得したが辞退した数」をそれぞれ教えてください。



Q. 直近の転職活動において、初めて人材紹介会社に登録してから、人材紹介会社経由で初めて内定通知に至るまでの期間を教えてください。

*1年以内「人材紹介会社」利用者ベース



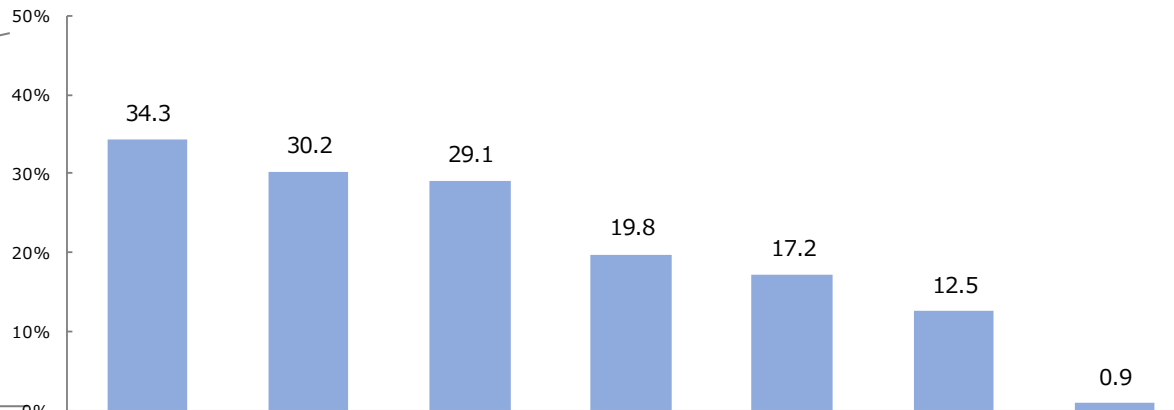
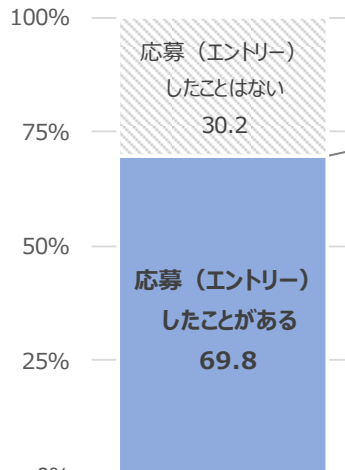
企業ホームページ

企業ホームページからのエントリー経験とその理由

- 1年以内の転職活動で企業ホームページを利用したことがあると答えたのは344名。調査全体1600名の21.5%だった。そのうち、企業ホームページからのエントリー経験があるのはおよそ7割で、エントリー理由としては「応募が簡単だった」がもっとも多い。次いで「入社意欲を高く見せられる」「応募窓口がHPのみだった」が挙がっている。
- 『男性20代』の企業ホームページからのエントリー経験は8割と高く、様々な採用手法で応募していることがうかがえる。

Q. 企業ホームページから応募（エントリー）したことがありますか。応募（エントリー）経験のある方は、その理由についてお答えください。

*1年以内「企業ホームページ」利用者ベース(344)



性別 × 年代	人数	応募（エントリー）したことがある / したことはない (%)	
		応募（エントリー）したことがある	応募（エントリー）したことはない
全体	(344)	69.8	30.2
男性20代	(75)	80.0	20.0
男性30代	(74)	73.0	27.0
男性40代	(31)	77.4	22.6
男性50代	(21)	57.1	42.9
女性20代	(64)	53.1	46.9
女性30代	(40)	72.5	27.5
女性40代	(26)	57.7	42.3
女性50代	(13)	92.3	7.7

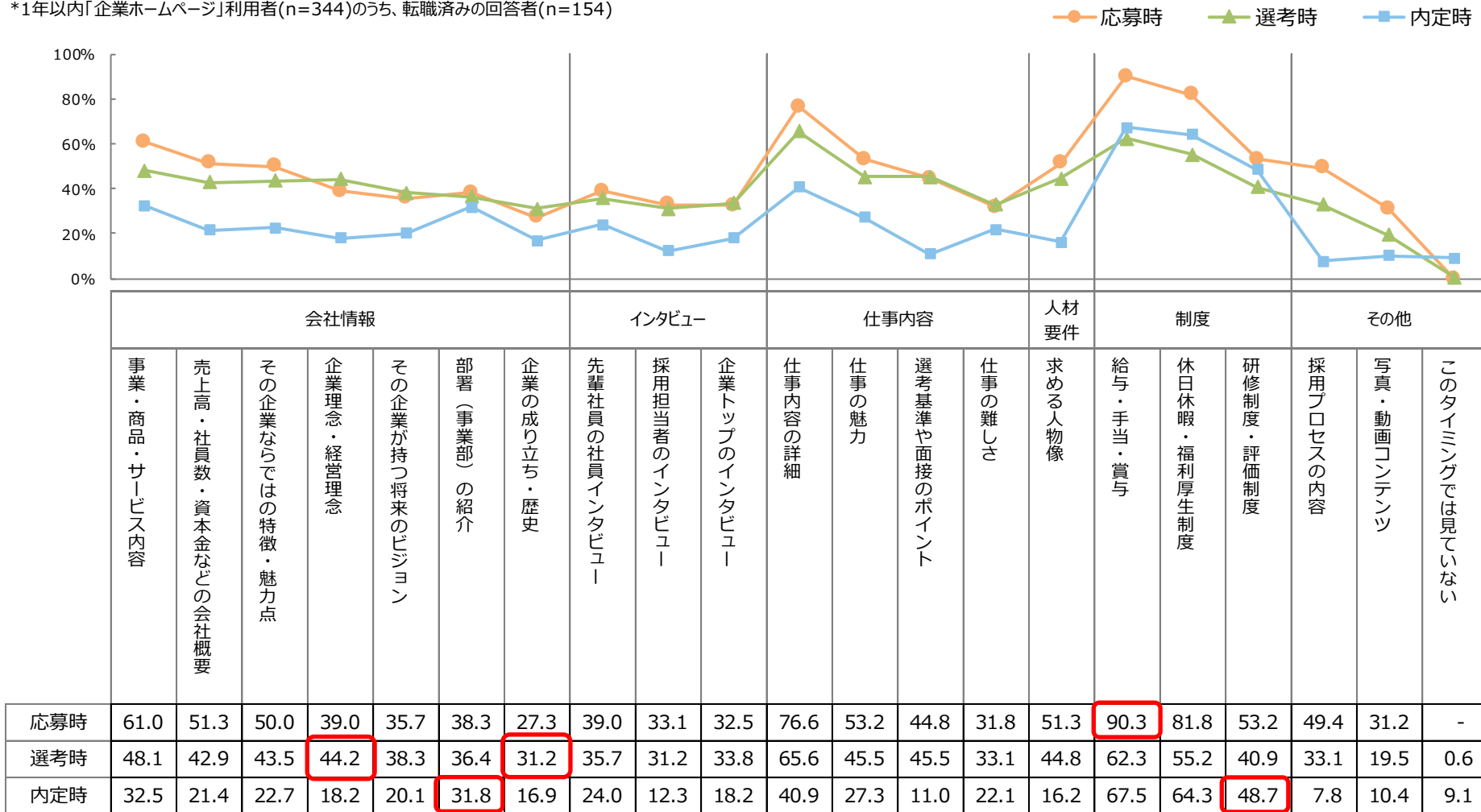
性別 × 年代	人数	理由 (%)						
		応募（エントリー）が簡単だった	入社意欲を高く見せられる	応募窓口がHPのみだった	検索で上位に出てきた	HPからの応募（エントリー）に特典がっていた	友人や知人から勧められた	その他
全体	(344)	34.3	30.2	29.1	19.8	17.2	12.5	0.9
男性20代	(75)	44.0	42.7	24.0	16.0	29.3	13.3	-
男性30代	(74)	32.4	31.1	36.5	28.4	13.5	17.6	-
男性40代	(31)	35.5	35.5	38.7	12.9	22.6	9.7	-
男性50代	(21)	42.9	33.3	4.8	4.8	9.5	-	-
女性20代	(64)	25.0	17.2	26.6	12.5	6.3	10.9	3.1
女性30代	(40)	20.0	30.0	30.0	35.0	20.0	10.0	2.5
女性40代	(26)	26.9	15.4	30.8	15.4	11.5	11.5	-
女性50代	(13)	76.9	30.8	38.5	30.8	23.1	23.1	-

企業ホームページで重点的に見ている内容

- 応募時、選考時、内定時いずれにおいても、最も重点的に見ているのは「給与・手当・賞与」となった。特に応募時に関しては回答者のうち90.3%が重点的に見ていると回答した。
- 選考時に関しては、「企業理念や経営理念」「企業の成り立ち・歴史」といった“志望動機になり得る情報”が他のタイミングよりも重点的に見られる傾向にあった。
- 内定時に関しては、「このタイミングで見ていない」が増えているものの、「研修制度・評価制度」「部署（事業部）の紹介」といった入社後の業務が想像できる項目が重点的に見られる傾向にあった。

Q. 企業ホームページの内容について、以下の項目のタイミングで重点的に見ているものをそれぞれすべてお選びください。

*1年以内「企業ホームページ」利用者(n=344)のうち、転職済みの回答者(n=154)



(%)

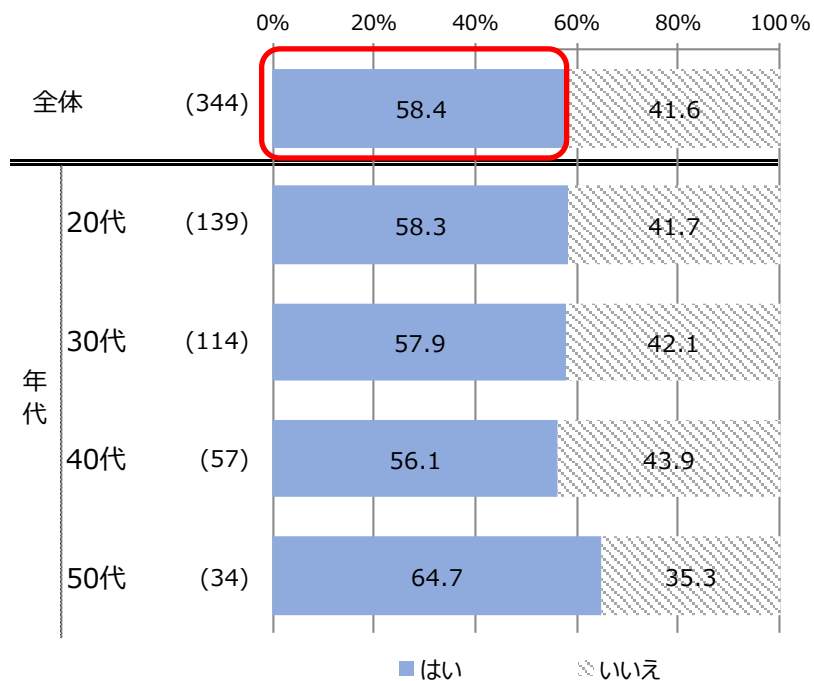
企業ホームページ内での動画視聴経験

- 企業ホームページ利用者のうち、6割弱が企業ホームページの動画経験があり、5人に3人は動画を視聴していることがわかる。また年代別で視聴有無を比較しても大きな差は見られなかった。動画の普及が進んでいることがわかる。
- 視聴分数については平均11.9分。20代の平均分数は13.3分と、他の年代よりもやや長い。

Q. 企業ホームページで動画を見たことはありますか。ある場合は、1社あたり合計何分程度視聴したかお答えください。

*1年以内「企業ホームページ」利用者ベース

【視聴有無】



【視聴分数】

